



2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 2020年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	4,299	△6.7	397	△44.0	452	△43.3	295	△44.4
2019年5月期第2四半期	4,608	6.2	710	2.0	797	4.8	531	3.8

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 232百万円 (△60.7%) 2019年5月期第2四半期 592百万円 (△6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	41.75	—
2019年5月期第2四半期	75.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	15,924	12,880	80.5	1,810.89
2019年5月期	15,757	12,791	80.8	1,797.65

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 12,825百万円 2019年5月期 12,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年5月期	—	20.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,640	△4.5	715	△36.4	825	△33.8	550	△33.6	77.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（2020年1月10日）公表いたしました「2020年5月期第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	7,552,628株	2019年5月期	7,552,628株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	470,332株	2019年5月期	470,304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	7,082,316株	2019年5月期2Q	7,082,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は底堅く推移しましたが、米中貿易摩擦の影響による中国経済の停滞感や、英国のEU離脱問題などを背景とした欧州経済の設備投資や生産が弱含むなど、景気の不透明感から減速感が強まりました。わが国経済は、世界経済の減速などを背景に輸出や生産が弱含むなど、景気の回復に足踏み感がみられました。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の減速などを背景に、設備投資に足踏み感が見られ、需要は弱含みで推移いたしました。フラットパネルディスプレイ業界向けや電子部品・半導体業界向けにおいては、レーザ加工機・検査装置への組込み用途の光学システム製品及び光学素子・薄膜製品の需要は軟調に推移いたしました。又、防衛業界、医療業界向けの光学ユニット製品の需要は緩やかな回復基調で推移し、バイオ業界向け自動位置決め装置などの自動応用製品の需要は堅調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界、医療業界向けの光学基本機器製品の需要が堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け研究開発分野向け、産業分野向けともに光学要素部品の需要は弱含みで推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は42億9千9百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益3億9千7百万円（前年同期比44.0%減）、経常利益4億5千2百万円（前年同期比43.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9千5百万円（前年同期比44.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①要素部品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の減速などを背景に、設備投資に足踏み感が見られ、需要は弱含みで推移いたしました。国内・アジア地域を中心としたフラットパネルディスプレイ業界向けや電子部品・半導体業界向けにおいては、レーザ加工機・検査装置への組込み用途の光学素子・薄膜製品の需要は軟調に推移いたしました。バイオ業界向けの顕微鏡への組込み用途の自動位置決め製品などを中心に自動応用製品が堅調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界、医療業界向けの光学基本機器製品の需要が堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け研究開発分野向け、産業分野向けはともに弱含みで推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は35億7千1百万円（前年同期比3.4%減）となり、営業利益は6億5百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

②システム製品事業

当事業においては、国内・海外の民間企業向け研究開発分野及び産業分野では、世界経済の減速などを背景に、設備投資に足踏み感が見られ、需要は軟調に推移いたしました。国内・アジア地域については、フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザ加工機・検査装置への組込み用のレンズユニットなどの光学ユニット製品の需要は弱含みで推移いたしました。又、防衛業界、医療業界向けの光学ユニット製品の需要は緩やかな回復基調で推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は7億6千2百万円（前年同期比20.2%減）となり、営業利益は4千万円（前年同期比73.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、87億9千万円となりました。これは、現金及び預金が4億8千万円、受取手形及び売掛金が1億4千2百万円それぞれ増加し、有価証券が5億1千8百万円、たな卸資産が2億5千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、71億3千3百万円となりました。これは、当社における新工場棟建設のための建設仮勘定が3億1千万円、投資有価証券が7千7百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、159億2千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.6%減少し、17億4千9百万円となりました。これは、短期借入金が8千7百万円増加しましたが、電子記録債務が2億円、支払手形及び買掛金が9千5百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて44.9%増加し、12億9千4百万円となりました。これは、長期借入金3億8千6百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、30億4千3百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、128億8千万円となりました。

自己資本比率は、80.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結・個別業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の状況を踏まえて、2019年7月8日に公表いたしました2020年5月期通期（連結・個別）の業績予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「2020年5月期第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,407,258	2,888,111
受取手形及び売掛金	1,854,141	1,996,581
電子記録債権	708,180	781,745
有価証券	1,201,894	683,311
商品及び製品	966,463	804,981
仕掛品	380,668	377,165
原材料及び貯蔵品	1,244,515	1,154,564
その他	126,877	106,121
貸倒引当金	△2,172	△2,196
流動資産合計	8,887,827	8,790,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	842,191	816,962
機械装置及び運搬具(純額)	649,807	583,919
土地	1,357,505	1,355,475
建設仮勘定	431,370	766,345
その他(純額)	158,236	140,889
有形固定資産合計	3,439,111	3,663,593
無形固定資産		
その他	152,778	136,202
無形固定資産合計	152,778	136,202
投資その他の資産		
投資有価証券	875,562	952,771
繰延税金資産	214,998	208,839
投資不動産(純額)	1,940,204	1,930,465
その他	250,428	245,404
貸倒引当金	△3,438	△3,338
投資その他の資産合計	3,277,755	3,334,143
固定資産合計	6,869,645	7,133,939
資産合計	15,757,473	15,924,325

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,764	388,388
電子記録債務	570,662	370,292
短期借入金	180,800	268,480
未払法人税等	225,348	181,625
賞与引当金	8,315	14,077
役員賞与引当金	20,900	—
受注損失引当金	25,699	19,575
その他	557,505	507,348
流動負債合計	2,072,995	1,749,788
固定負債		
長期借入金	115,800	501,940
退職給付に係る負債	674,611	693,647
その他	102,655	98,606
固定負債合計	893,066	1,294,193
負債合計	2,966,062	3,043,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,112	3,092,112
利益剰余金	7,394,569	7,548,660
自己株式	△633,891	△633,926
株主資本合計	12,476,137	12,630,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,705	219,948
繰延ヘッジ損益	—	△1,358
為替換算調整勘定	113,766	8,012
退職給付に係る調整累計額	△35,026	△31,536
その他の包括利益累計額合計	255,445	195,066
非支配株主持分	59,827	55,082
純資産合計	12,791,410	12,880,343
負債純資産合計	15,757,473	15,924,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	4,608,509	4,299,014
売上原価	2,671,164	2,633,186
売上総利益	1,937,344	1,665,827
販売費及び一般管理費	1,227,321	1,268,248
営業利益	710,023	397,579
営業外収益		
受取利息	3,409	3,214
受取配当金	1,647	1,705
不動産賃貸料	54,868	63,503
持分法による投資利益	32,220	18,482
その他	36,699	14,666
営業外収益合計	128,844	101,572
営業外費用		
支払利息	1,480	1,644
不動産賃貸費用	39,776	36,889
その他	276	8,439
営業外費用合計	41,534	46,973
経常利益	797,333	452,177
特別損失		
固定資産売却損	—	1,618
特別損失合計	—	1,618
税金等調整前四半期純利益	797,333	450,559
法人税、住民税及び事業税	269,693	165,453
法人税等調整額	△9,014	△13,272
法人税等合計	260,678	152,180
四半期純利益	536,655	298,378
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,035	2,640
親会社株主に帰属する四半期純利益	531,620	295,738

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	536,655	298,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,241	43,243
繰延ヘッジ損益	—	△1,358
為替換算調整勘定	79,419	△110,898
退職給付に係る調整額	3,689	3,490
その他の包括利益合計	55,867	△65,522
四半期包括利益	592,523	232,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	588,969	235,359
非支配株主に係る四半期包括利益	3,553	△2,503

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	797,333	450,559
減価償却費	163,729	183,995
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58	△40
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,150	△20,900
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,413	24,015
受取利息及び受取配当金	△5,057	△4,920
支払利息	1,480	1,644
持分法による投資損益 (△は益)	△32,220	△18,482
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,503	△230,076
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△198,998	238,869
仕入債務の増減額 (△は減少)	66,109	△284,931
未払又は未収消費税等の増減額	△51,975	92,951
その他	△32,235	1,794
小計	653,869	434,478
利息及び配当金の受取額	7,399	5,644
利息の支払額	△1,450	△1,735
法人税等の支払額	△228,889	△194,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,927	244,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,903	△12,461
定期預金の払戻による収入	24,901	12,460
有価証券の純増減額 (△は増加)	△400,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△223,426	△535,419
無形固定資産の取得による支出	△14,217	△2,465
投資不動産の取得による支出	—	△11,500
その他	△578	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△638,224	△49,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,450,000	2,600,000
短期借入金の返済による支出	△2,450,000	△2,600,000
長期借入れによる収入	50,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△107,000	△126,180
配当金の支払額	△120,299	△141,606
非支配株主への配当金の支払額	△1,507	△2,241
その他	—	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,807	329,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	75,802	△62,280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△310,300	462,268
現金及び現金同等物の期首残高	2,859,384	2,516,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,549,084	2,978,582

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,671,082	937,426	4,608,509	—	4,608,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,598	18,310	44,908	(44,908)	—
計	3,697,681	955,736	4,653,417	(44,908)	4,608,509
セグメント利益	827,463	150,769	978,232	(268,209)	710,023

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△44,908千円、全社費用△223,300千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,555,630	743,383	4,299,014	—	4,299,014
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,883	19,561	35,444	(35,444)	—
計	3,571,514	762,944	4,334,458	(35,444)	4,299,014
セグメント利益	605,914	40,476	646,391	(248,812)	397,579

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△35,444千円、全社費用△213,368千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。